公表 事業所における自己評価結果

			かにおけ	る自己評	<b>州福福</b> 来	
事業所名		放揮後デイサービスふくろう				<b>6107年3月31日</b>
		チェック項目	6	0	工夫している点	課題や改善すべき点 定員を超える際には、狭し、また、保護者が参加し てくださるイベントを実施した際には、施設内での
	1	利用定員が発達支援至等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	広朝期にわたる迷逆に対応するため、迷逆職員の間	実施では挟かった。 送班の面で(リーダーや製造対応可能な)機場指導員
環境 体制整備 服務改高	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切である か。	5	1	員や学生アルバイトの機員などの対応を行ってい る。	が動員となることもあり、業務上の契約な改善を要 するとこうもあると思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている か。また、事業所の設備等は、商器の特性に応じ、パリアフリー化や	5	1	可能な限り見える化を図ることにより、理境の構造 化を図っている。また、聴覚障がい児が多い現状に 能み、その特性に回した記述を行っている。	避難経路の観点からは6階という観点があるため、 その分、遊算訓練の異を高めるなど性重な心構えと 対策が必要だと思う。
		情報伝達等、環境上の影楽が適切になされているか。 生活空間は、清潔で、心地よく通ごはる環境になっているか。また、			BD. TURNELBUISDRETT (110.	対策が必要にこちつ。 冬季は床が消たく感じられることが多く、改善を要 すると思う。また、床のタイルがズレやすい点も程
	4	こども連の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	服られたスペースを有効利用すべく、仕切りを入れ	我的止の観点から改善を要する。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	たり、事務スペースを廃止して個別支援スペースに 支援するなどの工夫を行っている。	
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(口標設定と振り返り)に、 広く環境が参楽しているか。	4	2		職員前での議論の機会をもっと定期的に・クイム リーに設けるべきだと思う。
		広く株員の伊朗しているか。 保護者向け評価表により、保護者等の最均等を把握する機会を設けて			保護者向け評価表のシステム化やアプリ導入によ	
	7	おり、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	り、より多様で迅速な連絡体制の機能に努めてい る。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を単層改善につ なげているか。	s	1	日々の定期的なニーティングに加え、全体会議・研 他の機会を設けている。	個々の機員との個人重談や、機員全体での共有は課 題が残っていると思われ、改善を要する。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改画につなげている	2	4	規段階で第二者評価を行っていない、 今後の課題と したい、	
	_	p.		·	可能な限り研修の機会を確保するとともに、核論の	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研 修を開催する機会が確保されているか。	6	0	研修として全国各地の事業所への資際研修制度を導 入している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	<b>法令に即した対応を行っている。</b>	より良いものにしていくために、今後も研算をして いく必要がある。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を	6	0		
	12	二一人や構造を各額のに分析したよで、原体後キテイサーと人計画を 作成しているか。 故様後等デイサービス計画を作成する際には、児童免達支援管理責任	ь	0	時間をかけて福祉するのが時間であり、良いところ	
	13	者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最高の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	だと思う。	
	14	放揮後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が 行われているか。	6	0		
		こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマル			「適応行動」という点に特化した評価は実施してい ないが、言語・コニュニケーション面で認知・行動	
	15	なアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセ スメントを使用する等により確認しているか。	6	0	ないが、言語・コミュニケーション面で認知・行動 面、対人関係・社会性の面では、当事者職員や専門 職(ST)が日々取り組んでいる。	
		放揮後等デイサービス計画には、放揮後等デイサービスガイドライン				利用児が抱える回りごとに対し、保護者や学校・医 療機関などと、円滑に・締念に連携できていない
遊切な支援の提供	16	の「放講後等デイサービスの提供すべき支援」の「木人支援」、「家 族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支	5	1		ケースも数別される。そのため、職員時の連携や、 関係機関との連携は取り組むべき課題だと思う。
	L	振内容も臨まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		<u></u>		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	s	1		個々の機長は、さらなる研算を続ける必要がある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		
	16		,			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて救課 義等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内 容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている	6	0		一郎、組織として改算を要する点があると思う。また、 現場の支援にあたらない送迎職員との連携を改 数を寄する。
		か。 支援終了後には、職員間で必ず打会せを行い、その日行われた支援の				megso.
	21	振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ なげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、故障後等デイサービス計画の見直しの	4	2	システムを新たに得入し、一覧性の高いデータペー スの機能に努めている。	遅れや業務負担など、かなりの改善を要する。
	-	<b>必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。</b>			経験値を最大化することを目的とした「体験型」の	
	24	放揮後等デイサービスガイドラインの「4つの展本活動」を複数組み 会わせて支援を行っているか。	6	0	支援(屋外活動含む)を意識的に取り入れるように している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	s	1	「自ら考え選択し行動できる大人になる」ことを共 適回様として設定し、各支援の実際においても常に 意識しながら実施している。	子どもたちがそういっ力を身につけるために日々に 支援の工夫が必要に思います。
		随画児和語支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、	4			
	26	そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	特に専門的支援の実際において、医療機関や相談支	より一届、連携を運める必要がある。
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	援事業所との連携を強化し、必要に応じて主治底か ら診療情報提供者の提出を依頼している。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻 の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を通	6	0		学校等に対して、各利用児の協同教育指導計画の情 線は共和いただくよう依頼する必要があると感じ
100		切に行っているか。 数学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども国、児童発達支援				ō.
相同	29	事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		
や保	30	学校を平順し、放課場等デイサービスから障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している か。	4	2		
護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を関り、必要等に応じてスー パーパイズや動図や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	等年、巡回指導を受けており、その際に利用売の実 情等の情報共称や支援方法についての結當を頂いて	
		次揮後児童クラブや児童婦との交流や、地域の他のこどもと活動する			ers.	もっと計画的に継続できる形を模索する必要がある 
	32	機会があるか、	3	3		280.
	33	(自立支援) 協議会等へ機機的に参加しているか。	4	2	協議会が主催する研修会や意見交換会への参加を展 極的に行っている。	今後、参加する株会を増やしたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課	6	0		ちっと多くの機長が、保護者から保軽されるための 組織づくりが必要だと思う。
		地について共通理解を持っているか。 事族の対応力の向上を図る観点から、事族に対して事族支援プログラ			新たに家族やきょうだいが依怙できるイベントを増	
	35	ム (ベアレント・トレーニング等) や家族等の参加できる研修の機会 や情報提供等を行っているか。	5	1	やしており、今後はその数を拡大していきたいと考 えている。	
	36	連密規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っ ているか。	4	2		
	37	放揮後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思 の課題。こどもの最高の利益の優先を集の職所を譲まえて、こどもや	5	1		タイムリーさの観点から、十分に実施できていない 点は改善を要する。
	3/	家族の無向を確認する機会を設けているか。	,			
保護者への説明等	38	「放揮ル等デイサービス計画」を示しながら支援内容の飲明を行い、 保護者から放揮ル等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	1		
	39	事核等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、園談や必要 な助品と支援を行っているか。	3	3	推議の他、電話等での報談にも基価的に対応してい るほか、弾がい児の戦や弾がい治事者であるスタッ フが多い強みを活かした前温を行っている。	
		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、			新たに家族やきょうだいが参加できるイベントを増 やしており、今後はその数を拡大していきたいと考	今後も、計画的・総括的な取り組みを受する。
	40	保護者両士で交流する機会を扱ける等の支援をしているか、また、 きょうだい両士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	2	RTUS.	
	41	こどもや保護者からの高情について、対応の体制を整備するととも に、こどもや保護者に同知し、高情があった場合に迅速かつ週切に対	5	1		
		応しているか、 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することによ	1	Ė		
	42	り、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対し て発信しているか。	5	1		
- 京窓時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分総務しているか。	6	0	利用規制時にアレルギーやブライバシーに関する中 出書、同意書を提出いただき、それに沿った対応を 行っている。	
		際高のあることもや保護者との意思の経過や情報伝達のための配慮を	6	0		今後も無畏の異を高めるための取り組みが必要。
		しているか、	۰	Ů		
	45	事業所の行事に地域住民を紹得する等、地域に関かれた事業適居を 関っているか。	4	2		
	46	事故的止マニュアル、緊急時が応マニュアル、防犯マニュアル、協会 症が応マニュアル等を施定し、職員や家族等に周知するとともに、発	5	1		
	47	生を想定した訓練を実施しているか。 単務機能計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、	5	1		
	47	定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		
	48	事制に、服果や予防接種、てんかん角作等のこどもの状況を確認して いるか。	4	2	<u> </u>	<u> </u>
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示者に基づく対応が されているか。	3	3	利用契約時にアレルギーやブライバシーに関する中 出書、同意書を提出いただき、それに沿った対応を	保護者からの関き取りがメインであり、主治区から の指針はもらっていない。そのため、改善を要す
	H	されているか。 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置			行っている.	8.
	50	を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	51	こどもの安全確保に関して、事族等との連携が関られるよう、安全計 面に基づく取組内容について、事族等へ周知しているか。	5	1		
	52	とヤリハットを事業所内で共有し、再発的企に向けた方策について検 討をしているか。	3	3		タイムリーさの観点から遅れが生じる場面や、決定 事項の観点への同型が遅れることがある。そのた
		20 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		-		ab. 改革を要する。
		虚符を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をし				
	53	ているか、	6	0	体会广朗; 为委员会产品联络产品	
	53		4	2	法令に即した委員会や教長規程を整備しているが、 法人として基本的に身体的承は行わないの針にあ る。	